

令和4年度 進路部 基本方針

<基本方針>

本校が育成を目指す生徒像「聴く」「説く」「挑む」ことができる生徒を意識した進路指導の徹底

<今年度の進路部重点目標>

- ◎主体的に進路実現について考え、判断し、行動できる生徒を育成する
- ◎生徒の成長段階を踏まえた、体系的かつ効果的な進路指導のあり方を探究する

○重点目標について(補足)

令和3年度進路部基本方針を踏襲する形で、今年度も継続して、生徒の3年間の学びと成長を見通した、体系的かつ効果的な進路指導の推進を図ります。具体的には、「聴く」「説く」「挑む」の観点を踏まえた段階的な進路指導の展開に努めます。(※基本方針別紙資料参照)特に低学年時から自己理解を促し、日頃の学びの先に進路実現があることへの意識を高められるよう目指します。主体的に進路選択について考え、判断し、行動できる生徒を育成するため、積極的な助言・指導を行います。

○目標達成の具体策

- (1) 【体系的な指導の推進】生徒の適性、関心、学力を生かす進路選択が適切に行われるよう、学年との連携を密にした計画的な進路指導を図ります。
- (2) 【個を大切にした指導】生徒の資質を的確に把握し、その特性に応じた指導を行います。特に、生徒の進路実現への意識向上(=進路実現の「自分ごと化」)を図ります。
- (3) 【進路室の積極的な活用】進路に関する情報の収集、整備に努め、的確な情報の提供と活用を図ります。

★単に各学年における生徒の1年間の学びや成長を考えるだけでなく、3年間を串刺しにするような「体系的な進路指導」をデザインしていきます。